

# ぬかただより



岡崎市立額田図書館  
秋号 No. 52  
2019年9月発行

地名の不思議について考えたことはありますか？地名は、昔の地形、地質、産物などを表すことも多く、言葉の化石とも言われています。そこには、もう消えてしまった古い言葉が残っているかもしれません。今号では、額田の珍しい地名をご紹介します。併せて愛知県の難読地名クイズもお楽しみください。

## 額田の難読地名

明治初期まであった村。  
今の小久田町の一部。

### ① 富尾町 【とんびゅうちょう】

「トン」は高い、「ビュウ」は別府。高い別天地の意味です。「鳶尾」とも書き「とんひう」「とんひら」ともいいます。

### ② 保久町 【ほつきゅうちょう】

「ホツ」は崖。縄文時代からの呼称。「キュー」は狭い谷の奥のことをいいます。

### ③ 鍛埜町 【かじのちよう】

明治初期まであった「鍛冶屋村」、「土村」、「大林村」の各1文字をとり、林と土で「埜」とし、「鍛」と組み合わせた地名。この辺りには、昭和の時代まで鍛冶屋が3軒ほどあったそうです。



### ④ 木下町 【きくだちよう】

都へ運ぶための木を乙川へ流したので、「木を下した村」という意味から名付けられたそうです。

### ⑥ 赤田和(村) 【あかんたわ(むら)】

「タワ」は峠のことで、縄文時代からの呼称です。峠下の集落名として用いられ、奥深い山中の田畑の意味だとか。今も、形埜地区に「赤田和公民館」「赤田和下」などバス停の名前として地名が残っています。

### ⑤ 千万町町 【ぜまんぢようぢよう】

昔、この地域は作手の管轄で「番所」の出張所がありました。これを「出番所」(でばんしょ)といい、それがなまって「でばんじょ」→「ぜまんぢよう」になったとか。

東側は作手地区(新城市)と接する。

● 檉山 かしやま  
「檉」は、傾く(かたむ)から来たという説があります。

● 乙女川 おとめがわ  
額田南東部の川。漁師立ち入りの禁止の意味で、「御留め川」。転じて、「乙女川」となりました。上流に向かって合流しており、荒れて渦を巻いている所もあるそうです。

● 土ど (現鍛埜町一部)  
明治初期まであった村。「下」は川の合流点を表す地名で、乙川と保久川の合流点付近にありました。今も鍛埜地区のバス停の名前として地名が残っています。

● 額田 ぬかた  
鍛冶と関係のある地名。二銚(いがた)型用の土、カタ(型)、「二・カタ」からきたといわれます。全国に十二箇所ほどある地名で、他県ではまれに「糠田」と書き、ぬかるんだ土地を表す場合もあります。

● なるほど！由来

※由来は諸説あります。

### \* 難読地名クイズ \*

線をつないでください。正解は右下にあります。

- |                   |   |   |        |
|-------------------|---|---|--------|
| ① 和示良神社 [名古屋市名東区] | • | • | ④ おしかも |
| ② 大蟻螂町 [名古屋市市中川区] | • | • | ⑤ まだらめ |
| ③ 亥子角 [豊川市一宮町]    | • | • | ⑥ かいら  |
| ④ 鴛鴨 [豊田市]        | • | • | ⑦ どうろう |
| ⑤ 駿馬 [西尾市(旧吉良町)]  | • | • | ⑧ いねずみ |



参考資料 ● 『額田町史』 額田町史編纂委員会 / 額田町 / AN233 ● 『角川日本地名大辞典』 編纂委員会 / 編 角川書店 291.0 / カ / 23 ● 『愛知の地名』 中根洋治 / 著 風媒社 / 291.5 / ア

# おはなし会・ブックスタート

## ＊おはなし会＊

毎月第2土曜・第3木曜 10:30～11:00  
 ※木曜はちいさいこ(0.1.2歳)向けです。

【秋の開催日】

9/14(土)、9/19(木)、10/12(土)、10/17(木)

11/9(土)、11/21(木)

## ＊ブックスタート＊

偶数月第1木曜 10:00～11:00

【秋の開催日】10/3(木)



## 秋号のおすすめ本

### YA向け

#### 『ことばハンター』

飯間浩明／著 ポプラ社 YA 813／コ

「ことばハンター」って何だろう…？ハンターといっても、虫取り網を持って走り回ってはいません。「ことばハンター」は、国語辞典を作るため、新しいことば、知らないことばを日々ハンティング。朝起きて夜寝るまで、いつもことばに注意しているよ。日常会話からも探すので、「がち」「めっちゃ」「はんぱない」など、イマドキのことばが載っている辞典も！

ことば大好きな著者が、自身の経験をもとに辞典の作り方を紹介するお仕事本。

読んだらあなたも、ことばをハンティングしたくなるかも♪



### ちいさいこむけ

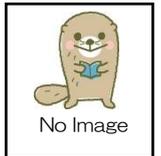
#### 『あきぞらさんぽ』

えがしらみちこ／作 講談社 E／ア

いろんな秋に、会いに行こう。

秋の空の下、女の子がおさんぽで出会ったのは、どんぐり みのもし きれいなおちば…。

思わず外へ出かけたくなる、きせつ感たっぷりの絵本です。



### 小学生向け

#### 『てんのないにつき』

宮下すずか／作 くもん出版 913／ミ

たぬきのツナくんは、すこしあわてんぼう。

しゅくだいのにつきにてん(、)を書くのを わすれてしまいました。それをよんだせんせいは、いきが

くるしくなって、たおれてしまいます。

ツナくんは、てん(、)をいれて書きなおそうと、いえにかえるのですが…。



閲覧席の窓越しから見える「おおだの森」。その姿は大きくどっしりとしています。「仰ぎ見る」を、地元言葉で「おたえる」と言うのが由来だとか。

秋の空気を吸いにおおだの森へ出かけませんか。「おたえる」山の頂上から見下ろす景色は素晴らしいです。小さく額田図書館も見えますよ。



## 岡崎市立額田図書館

檜山町字山ノ神 21 番地 1 TEL82-2953

【開館時間】9:00～19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。